

確実に情報を持っているのは、
死んだ当人だけなのだ——。



霊の記憶を視ることが出来る探偵が
出合う二つの事件。

『記憶屋』『花束は毒』で話題の
著者が描く新感覚ミステリ

『ただし、無音に限り』
織守きょうや

創元推理文庫